

# 信賞必罰の「必罰」を強化！！

## ヒューマンエラー発生全責任は現場担当者にある！？

皆さんすでにご承知の事と思いますが、今年のGW安全輸送期間中に大交両所で「工具の一時紛失」2件と「座金を1枚多く付けていたのを見逃す」という計3件のヒューマンエラーが発生しました。担当で分けるとユニット担当1件と運転台担当2件です。

会社は担当者に執拗な「事情聴取」や「知悉度確認」等を行いました。さらに運転台を担当していた2名（検査担当）のユニット担当への「担当替え」を行い、ユニット担当をしていた2名（検査担当と検修担当）は、工具の一時紛失という事象からは全く的外れなユニット担当としての作業手順等の「見極め」「後フォロー」なるものを行っています。さらに全社員を対象に「度重なるヒューマンエラーが発生」したこと踏まえて「大阪交番検査車両所の今後を深く考えて」もらうためと称した「レポート」提出を強制しました。

## 自己保身のために社員への責任転嫁を図る大交両管理者！

ユニット担当による「工具の一時紛失」については、現れた事象を持って担当者の作業の「すべて」を疑っているのです。それは検査担当としての「見極め」合格にも関わらず、執拗に行われている「後フォロー」なるものが証明していると思います。また運転台担当をしていた2名（検査担当）は、有無を言わずユニット担当への「担当換え」を行っています。会社は社員を信用することなく、信賞必罰の「必罰」のみを強化しているに過ぎません。これは管理者責任を問われた大交両管理者が「自己保身」のために、社員に責任転嫁をして乗り切ろうとしているのです。「レポート」提出を含め一連の対策ならざる対策がそれを証明しています。

## 再発防止には責任追及でなく原因究明が大切！！

会社は、ソケットの一時紛失については、外れないように一体物にして欲しいと要望があっても変更しませんでした。また、ボックスドライバー本体とソケットを「1つ」「1つ」管理せずまとめて管理をさせていました。さらに、300系工具のなごりから工具ロッカーに使用頻度の低い工具が配置され続けていることも原因の1つです。その原因を究明し取り除くのが本来の対策です。やればできる本来の対策が遅れているのは責任追及重視の姿勢だからです。「信賞必罰」でも「責任追及」でなく本当の意味での対策が必要です！ みんなで声を上げて改善していきましょう！！